

(25) (5)

昭和
21年

振田
記録
昭和
21年
振田元
大使より
寄贈
他
家
蔵
本

REEL No. A-0003

0228

アジア歴史資料センター

歐米局長

加友内閣成立以後に起リタル

政未為第一課関係ノ主要事件

一、ソヴィエト聯邦関係

(1) 日露基本条約ノ締結

大正十四年一月二十日北京に於て日露

基本条約ヲ締結シ、露王革命

以来断絶ノ状態ニ立リタル日露古玉

外務省

間ノ互支関係ヲ回復レ古玉間ノ関
係ヲ律スル基本法則ヲ協定シタル外
尼港事件、ホーワマス条約ノ效力問題
等ノ懸案問題存満足ナル解決ヲ見
ルニ至リタリ

(四) 外交及領事関係ノ確立

日露基本条約ノ規定、從て日露古玉
ハ互ニ大使ヲ交換シ且主要各地に領

外務省

事彼ヲ設置シテ吾國ニ外交及領事
關係ヲ確立セリ即チ帝后、アリテハ大
正十四年三月二十五日夜邸ニ帝后大
使彼ヲ開設シ疑義大使ニ任セラレタル田
中元外務次官ハ七月十四日夜邸着相立
十五日圖書捧呈ヲ了シ又哈魯及匪
港ニ總領事彼ヲ、ブラゴエシケエシスク、オデ
ツサ、ノヴォシビルスク及ペトロパヴロフスクニ

外務省

領事彼ヲ及、オホ、總領事彼分彼
ヲ夫ニ開設シ且、ソグイェト官憲ノ為職
務執リテ否認セラレツツアリタル浦潮總
領事官彼ノ職務執リテ正式承認
セシメタリ(未開設ノ軍ニ互ラサルモ英斯
科ニモ帝后領事彼ヲ開設スルコトヲ存
ソグイェト聯邦政府ノ承認ヲ得アリ)他
方ソグイェト聯邦ニアリテハ東洋木使彼

外務省

外務人民委員部參事ゴツア氏ヲ駐日
大使之任命會大使ハ今年四月二十四日
東京ニ着任五月五日信任状捧呈ヲ
了レ又東京大使彼内ニ領事部ノ
神戸及京城ニ總領事彼ヲ(初ノ神
戶及大阪ノ各地ニ領事彼ヲ主キタルカ
後大阪領事彼ヲ廢シ神戸領事
彼ヲ總領事彼ニ昇格セリ)函館小

外務省

樽、敦賀、長崎及大連ノ各地ニ領事
館ヲ夫ニ別設セリ(横濱ニモ領事
館設至方承認ヲ其ヘアルモ未其ノ別
設ヲ見ルニ至ラス)

(ハ)北樺太行政ノ引渡並撤兵ノ完了
日露基本条約關係議定書(甲)ノ
規定ニ從ヒ大正十四年五月十四日迄ニ薩
哈連台領軍司令官及ゴウエイエト聯邦

外務省

中央執り委員會北陸哈連委領令權
委員會間北陸哈連全地域に於ける
行政引渡り了し自來軍亦同日之陸
哈連白領軍ノ同地撤退ヲ完了セ
リ

(二)北陸哈連石油石炭利權契約ノ成立
日露基本條約關係議定書(乙)ニ基
キ大正十四年十二月十四日莫斯科に於て

外務省

石油に關しハ北陸哈連石油企業組合
及ソヴイェト聯邦政府間ニ、石炭に關しハ
ハ北陸哈連石炭企業組合及採井組合
ト政府トノ間ニ夫レ利權契約ノ締
結ヲ見タリ(該利權契約ノ規定ニ從ヒ
石油企業組合ハ北樺太石油株式會社
ヲ又石炭企業組合ハ北樺太鋳業株
式會社^{夫レ}創設シ之ニ對シ該利權契約

外務省

依り生る一切ノ權利義務ヲ讓渡
 セリ右方會社ハ最近哈省ニ於テ
 五鎊山ノ労働組合ト協定ヲ結
 備契約ヲ締結セリ
 日露基本条
 約關係議定書(乙)ト離レ塚原組
 合及ソグイェト聯邦政府間ニモ北滿
 哈連石炭ニ関シ利權契約締結セ
 ンレタリ

外務省

(木) 日露漁業協約改訂交渉
 日露基本条約第五章ニ基キ日下
 莫斯科ニ於テ右方會社間、千九百十
 七年ノ漁業協約ノ改訂交渉進行中
 ナリ
 (ハ) 樺太
 樺太領林業利權交渉
 (大正十四年九月以降哈省ニ於テ)
 樺太領林業利權ニ関シ我々領
 林業組合代表者及樺太利權委員

外務省

例ニ交渉ヲ重シタルカ議經マラヌ本年
 に入り^{（交渉の場所）}東部^{（モスクワ）}モスクワニ移シ目下折角
 露領林業組合代表者及ソグイェト政府
 當局間ニ交渉中ナルカ遠カラズ満足
 ナル解決ヲ見ルニ至ルニキ状況ナリ
 ✓^{（改正）}連絡運輸^{（米）}會議
 日露互交回復ニ伴ヒ戦前ノ通西
 比利亞經由日露百及改正間直通^{（運）}

外務省

絡運輸ヲ百例セムコトヲ希望シ帝政
 府よりソグイェト政府ニ交渉ノ結果大正
 十四年十月莫斯科ニ於テ關係各五
 政府及民間業者ノ會議ヲ開催セリ
^{（日露百）}直通^{（列）}車運輸ニ関シテハ東支鉄道
 側ノ反對アリ議經マラサリモ^{（連）}絡
 運輸ニ関シテハ各種ノ協定ヲ成ス所アリ
 更ニ今秋柏林ニ於テ同問題ノ政

外務省

宛々續リタル等ナリ

外務省

ニ土耳其関係

大正十四年三月一日英佛伊諸王政府
ト協議ノ結果、其キ帝王政府ハ土
王政府ト對シ同意、帝王大使彼ノ
閣下ニ決定シタル旨ヲ立土帝王高
級委員ヲ申入レシメ同月二十三日君
王、帝王大使彼ノ閣下ニ疑土大
使、任命セラレタル小幡大使ハ同年十

外務省

一月十七日君齊、着任同月二十三日
圖書捧呈了り他方土耳其政府
ニ於テモ日本島、大使彼ヲ復置スルコ
決レ土君齊外交代表首席タリレコファット、
ベイヲ代理大使ニ任命台氏ハ方二十四年
七月七日東京、着任セリ

外務省

三波斯關係

(1) 波斯地方經濟調査

波斯地方經濟事情調査ノ緊要

ナルヲ認メ所要ノ經費ヲ大正十五年及

總追加豫算ニ計上要求帝命儀

會ノ協賛ヲ得タリ右任務ニ従事ノ

外務省吏員ハ大正十五年十月十日

十日既ニテヘランニ利着(事務所)

外務省

ヲ例設セリ

(四) 日波修交通商条約締結問題

日波通商条約締結交渉ハ従来幸

ニカビエレーション問題ノ為不調ニ終リ

居リタル處最近ニ至リ該問題ニ触ルルコ

トナク通商航海関税ニ関スル暫定取

極ヲ結ブノ方針ヲ樹テ交渉ヲ例始

シタルカ更ニ進ニ修交通商航海

外務省

条約ヲ締結シカビエレーション問題

ニ付テハ交換公文ヲ以テ円満妥結ヲ

遂ケルノ方針ニ改メ目下折角交渉

中ナリ

外務省

四、阿富汗關係

阿富汗王より希望申出ノ次第モアリ
帝王、於テモ阿富汗王ト修交条約ヲ
締結スルヲ有利ト視メ立英大使及日地
國駐在阿王公使百、目下本件条
約締結交渉進リ申ナリ

外務省

五、其他

特記人ノキ事件ナシ

外務省